

平成28年度第4回佐倉市行政評価懇話会

- 1 日 時 平成28年11月19日（土）午前9時30分～
- 2 会 場 社会福祉センター3階中会議室
- 3 内 容（議事）
 - （1）第2回市民ワークショップについて
 - （2）平成28年度評価対象施策について
 - （3）その他
- 4 その他
 - （1）事務連絡等（事務局）

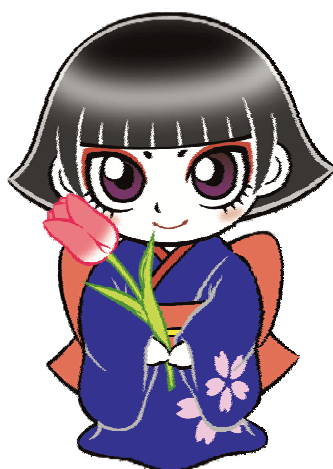
資料

- ・資料1 第1回市民ワークショップ全意見

実施計画書（平成28年度～平成30年度）
その他参考資料

第 1 回市民ワークショップ 全 意 見

平成 28 年 10 月 30 日（日）開催
（第 3 回佐倉市行政評価懇話会）



A 班 「健康づくり広め隊」

課題

- ✧ 諸施設への交通ガイダンスがない。
基本的に車利用のシステムになっている。
- ✧ 運動団体に参加する一覧表を作る
- ✧ 訪問往診してくれる一覧表を作る
(歯科のみでなく全ての分野)
- ✧ イベントや啓発は年代別でなく、地域区ごとに開催してほしい。
→地域でのつながりに結びつく。

重要ポイント

- ◇情報発信の徹底
- ◇開催場所の分散化
(小規模でもいい!)

他にも・・・

- ✧ 宣伝が下手★★
→せっかく良い取組があっても、伝わってこない。
- ✧ 予防的観点の情報提供がほしい★
- ✧ 健康なうちに健康習慣を身につける機会を設けてほしい★
- ✧ 入院できる病院が少ない → 紹介がなくても利用できる小規模な施設がほしい。
- ✧ スポーツ教室の年間実施数を増やす
→現行の年2回程度では、参加がむずかしい。せめて月1くらいで実施してほしい。
- ✧ 安くて気軽に行けるリハビリセンター★
- ✧ 安く利用できる運動施設が地域毎にほしい
- ✧ 市へ診断書の結果をデータ提出しない人が多いのではないかと
→扶養家族など市以外で健診を受けている人が受診率に反映されれば、
受診率があがるのではないかと。
- ✧ 健康診断の期限を設けない
→期限中にいけないときがあるので、有効期限をなくしてほしい。
- ✧ GW 期間等混雑が予想される期間中、休日担当医を1箇所ではなく2箇所おいてほしい
- ✧ がんセンターがほしい →今後、高齢化社会が進むと重要なポイントとなる。
- ✧ 男性の参加を促す良い方法はないか

★マークは
注目ポイント！

車がなくても利用できる距離にほしい。

良いところ

- ✧ 行政としての取り組みの姿勢は良いと思う
- ✧ 運動の大会が多くある
- ✧ 医療機関との連携があるため、先生方が必ず運動をしているか聞いてくれる
→医療機関でスポーツやジェネリックの利用を進めてもらえるのは連携を感じる

その他

(付箋)

- ✧ スポーツ競技に対しての競争という意識をどのように考えるか
→順位をつけることを好しとしない風潮があったこともある
- ✧ 都市構造が基本的に車移動になっている
- ✧ 生活に即したコミュニティバス運行の必要性
→人の動線とバス等路線が一致していない。
- ✧ 健康というテーマは市民によりニーズの違いがあり難しい
- ✧ テーマを絞り、年齢別とする
- ✧ 高齢者は人と会うことが良い刺激となる。
→年齢ごとに価値観が異なることの例としての意見
- ✧ カムロ人形のスポーツイベントを作る。
→カムロ杯と冠すなど、市民に親しみを持てる形で。

検討テーマの範囲が広い
と議論しにくい。効果的
に、年齢別などターゲッ
トを絞ったほうがいい

(雑談などから)

- ✧ 大和芋、落花生など特産品が知られていないので、町中で作って販売するといい。
- ✧ 民間からすると、行政はスピードが遅い →鋭い視点がほしい
- ✧ 福祉分野への税金投入率が高い。ばら撒きとを感じる点もあるので見直してほしい。
- ✧ 福祉分野に力が入りすぎているので、道路の狭いところ、暗いところに充てるよう見直しをしてほしい。
- ✧ 行政と警察はもっと密に連携すべき
- ✧ 佐倉市には免許のない女性も多いと感じる。女性はとくに高齢化で足が弱くなりやすいので小回りが利くコミュニティバスの運行があると買い物難民防止にも効果的でいい。
- ✧ 今回参加者から出てきた意見が今後どのように反映されるかが大切

発表内容

施策の実現のために取り組んでいる事業はすばらしいが、それがうまく伝わってきておらず、活用しきれていない印象なので、情報発信の徹底をしてほしい。

その他の意見ででた生活に即したコミュニティバスの運行の必要性について補足する。せっかくスポーツ大会などを開催していても、高齢者の方は免許返上をしていたり、そもそも免許をもっていない方がいたり、佐倉でのイベントに志津の人が行けない実情からこの発言があった。こういった課題点に着眼し、小規模でもいいから開催場所の分散化を提案した。

B班「健康づくりが

進んだまち 佐倉」

課題

- ◇ 健康づくりと称しての犬の散歩
- ◇ ガンがわかる血液検査について、知識不足だった
- ◇ ガン検診の受診率が低く、目標値の設定方法が疑問
- ◇ 佐倉市の健康テーマを知らなかった
- ◇ 人の交流が多い時代なので、個人だけで健康が維持できるか
- ◇ 健康を推進する理由・根拠について伝わってこない
- ◇ スポーツと交通事故の関係
- ◇ スポーツで本当に健康になるのか
- ◇ 収入が少ない中、スポーツは費用がかかるのでは
- ◇ 生活時間の中からスポーツする時間を作り出せるか

元気のために

スポーツと健康

良いところ

- ◇ 行政は健康面について良く進めている
- ◇ 健康教育・健康相談等の実施、充実、広報
- ◇ 地域コミュニティは進んでいるようだ
- ◇ 週に1程度の運動なら結構やっている
- ◇ 市主催スポーツ大会は数多く実施されている
- ◇ 自主的にラジオ体操をしている人達が多いので張り合いが出るような良いことができないか
- ◇ ウォーキングをしている人は割合多い
- ◇ 病院の数が多い

いつも元気で

スポーツへの参加

医療機関の充実

その他

(付箋)

- ◇ 増加する医療費と税金への影響
- ◇ 医療費を抑制すると佐倉にどのように良い点があるか
- ◇ 担当医師によって、悪玉コレステロールの評価が違う
- ◇ 公園に高齢者向けの健康促進器具を設置してほしい
- ◇ 気軽に健康アドバイスが受けられると良い
- ◇ 運動が苦手な人手も運動ができる環境作り
- ◇ 「健康である」の定義を明確に

健康の改善

- ✧ スポーツへ参加しない方にはどうするか
- ✧ 犬のフンの始末が出来ない人が多い
- ✧ 車道と交わらない、遊歩道、自転車道の設置を
- ✧ 食の関心が高いため、健康と結び付けられると良い
- ✧ 町内会の役員は毎年変更して経験することで、理解できることもある。
- ✧ 地域をまとめる協議会の力が若干弱い

地域の役割改善

（雑談などから）

- ✧ 病院や歯医者数は多いが、どこも待ち時間が多い
- ✧ 施策評価について、未達成の原因と分析が必要
- ✧ 説明資料をもう少し図形化してほしい
- ✧ 57の施策体系は優先順位が分からず多すぎである
- ✧ 「まひし」の説明が少なく理解が難しかった
- ✧ ワークショップの成果報告書を情報提供して欲しい

発表内容

まず、テーマについて良く出来ている部分として、健康教育等やスポーツ大会の実施等、行政の取り組みについては良くやれているとの意見があった。

また、地域コミュニティでの取り組みも良くできているという意見があった。

一方、課題や改善が必要な点もあり、がん検診の受診率の低さについては、行政の頑張りや伝わるものの、もっと広報の工夫や充実が必要ではないかとの意見となった。

スポーツと健康については、スポーツを行うと本当に健康になれるのかが、伝わってこないとの意見もあった。健康になれるのであれば、メリットやデメリットを含めもっとはつきり周知していくようなアナウンスが必要ではないかとの意見があった。

スポーツへの参加については、既にスポーツをできている人は元気な人が多いのではないかと考え、一方で、健康でもスポーツをできていない人、足腰が弱いと参加できない人も多いのではないかと考えた。

課題として、このような人達をどのようにスポーツにつなげていくかを考えることも重要だと捉えた。また、食の関心が高いため、健康と結びつけられると良いのではとの意見もあった。全ての人を健康にするのは、非常に難しいと思われるが、個人単位での自覚が何より重要になってくると考えている。

（感想）

スポーツに参加できていない層をどう取り込んでいくのかという着眼点は重要だと感じた。この課題に対しての取組をどう解決すればよいか次回の発表を楽しみにしている。

C班「元気な地域コミュニティ のために！！」

良いところ

- ✧ ゴミ収集がしっかりしている。小型家電等の収集がよい。
- ✧ 公民館祭等の事業に多くの人に参加している
- ✧ 防災さくらの放送はよい
- ✧ 町内会館が多い（各町会に一つはある）
- ✧ ボランティアが多い町
- ✧ 防犯パトロールが盛んである

自治会

- ✧ 年2回の側溝掃除と懇親会。
→ご近所づきあいのよいきっかけになっている。
- ✧ 自治会が面倒な時がある
- ✧ 役員をやりたい人とやりたくない人がいる
- ✧ 自治会活動での事故と責任
- ✧ 自治会役員のなり手
- ✧ 朝の子どもの見守りは続けて欲しい
- ✧ 集会所の建替えの際、資金面と共に、その街の将来像や住みよいコミュニティの場のあり方を提案して欲しい

市への要望

- ✧ 安心して暮らせる町として感染症予防をしっかりとって欲しい。
成田に近く京成電車を介して最近の病気の感染が広がりやすい。不安もある。
- ✧ 買い物するのに交通手段がない
- ✧ 高齢者になっているので買物難民。毎日を健康的にすごすのはむずかしい。
- ✧ 市が中心となって移動販売をして欲しい
- ✧ 民間業者を参入させて宅配弁当を手配する課を設置して欲しい
- ✧ 市がいろいろと企画してくれていますが、それに参加する交通手段がない。
高齢になっているので、通える環境づくりを検討して下さい。
- ✧ 巡回バス
- ✧ 道の駅

- ✧ 公園の有効活用
- ✧ NPO、ボランティア活動への参加の仕方がわからない。
- ✧ 難病者、ハンディのある人のスポーツも検討して欲しい。
- ✧ 運動教室や健康、栄養などの啓発事業をするとき、自治会や学校を単位でやって欲しい。その後の地域の結びつきにつながる。
- ✧ 地域まちづくり協議会の活動がわかりづらい。
- ✧ 高齢者の活用
- ✧ 後期高齢者を光輝高齢者に
- ✧ 坂の上なので、駅までの往復が大変である。バスの数を増やして欲しい。

健康

- ✧ ふまねっと運動（※）を地域で
- ✧ 自分の体と地域は自分達で守る
- ✧ 育自（育児が終わったら、自分自身を育てる）
- ✧ 幼児からの食育

※ ふまねっと運動とは・・・

50センチ四方のマス目でできた大きな網を床に敷き、この網を踏まないようにゆっくり慎重に歩く運動です。

マス目を利用したステップがたくさん用意されており、このステップを間違えないように「学習」しながら歩行のバランスを改善する「運動学習プログラム」です。集団で交差して歩くこともできるので、レクレーションとしても楽しむことができます。

その他

（付箋）

- ✧ 消防団への関心が低い
- ✧ ボランティアに参加する時間がない
- ✧ 子ども中心のボランティアがあれば子育て世代も参加しやすい
- ✧ 空き家の増加

（雑談などから）

- ✧ 古い地域なので、地域に入っていくづらい
- ✧ 自治会が揉め事の原因になったことがある
- ✧ 消防団の団員が固定化してしまっており、若い世代が入ってこない。
「こども消防団」があれば、若い子育て世代に関心を持ってもらえるかも
- ✧ 高血圧等の子どもがいる。数十年後を見据えた健康づくりを行っていかなければならない。

- ☆ いま野菜が高い。メインどおりに「道の駅」があり、安く野菜を売ってもらえればコミュニケーションの場にもなる。
- ☆ 75歳までは高齢者とはいえない。それまで活躍できる場が欲しい。そして後期高齢者は、光り、輝く高齢者、光輝高齢者になってほしい。
→ ご自身の寝たきりとなった父親を、介護保険制度のない時代に10年看護した経験から。自分自身は、寝たきりにはならないよう、アクティブシニア！

発表内容

良いところは、ごみ収集がしっかりしている、公民館に人が良く集まる点。防災佐倉が充実して聞きやすくなってきた。とくにボランティア活動が盛ん。お年寄りの面倒をボランティアが見るような仕組みとなっている。また、町内会館がひとつの町に一つある、防犯パトロールをほぼ各町会がやっている点がある。

要望については、巡回バスの必要性が高まっている。買い物難民対策をしてほしい。メイン通りに面した道の駅があったらいい。市が中心となって移動販売をしてほしい。野菜が高く、物価が高くなってきている。65－75歳くらいまでは高齢者と呼べない。元気なひとが多いのでその活用を考えてほしい。フルタイムは難しいが、介護の人手不足などで高齢者の活用を考えるといい。また、公園が各町会に1～2あるが、ほとんど使われていない。高齢者が活用できるよう運動用具等を置くとよい。自治会に関しては、役員をやりたがらない人がいる反面、やりたい人がいるので、その兼ね合いが難しい。朝の子どもの見守りは続けてほしい。消防団への関心が非常に低い点も課題。対高齢者ボランティアは多い一方、子どもに対するボランティアが少ない。健康ということでボランティアの人たちが一生懸命になってやっているが、男性ボランティアの参加が少ない。子どもの頃からの食事法が大切という話があったが、食育は大人になってからでは遅い。高血圧は塩分の取りすぎが要因。イギリスは減塩に取り組み2800億円費用を減らした実績がある。子どものうちから取り組まないといけないので、保育園のときからの食育に取り組んでほしい。

(感想)

高齢者ということばが氾濫している。高齢化は3～5年でなくなるものでない。負のイメージで捉えられているが、ポジティブなものと捉えられるように行政に取り組んでほしい。



D 班「地域コミュニティが 元気なまち 佐倉」

良いところ

- ✧ 自治会活動の意識が高い
- ✧ 住民が自治会へ協力的であった
- ✧ 公園で犬の散歩をしていると子供達が気軽に声をかけてくれる
- ✧ マンションの集まりで毎朝ラジオ体操をしている
夏には、子供達や隣マンションの住民も参加している
- ✧ 小学校区を拠点化しての取組が良い
- ✧ 子供達の送り迎えのサポートが盛ん
- ✧ 里山整備など、まちづくり協議会の活動が活発
- ✧ 駅前に自転車の放置がない事に感心している
- ✧ 道路等が綺麗に掃除されている
- ✧ 毎朝、駅前や公園内等の清掃活動が行われている
- ✧ マンションの出入り口に協力して花が植えられている
→佐倉市は自治会活動が盛ん、住民も協力的で大変良い。
- ✧ 予防接種等の医療体制が充実している
- ✧ 市職員の対応が良い人が多い

自治会活動

その他

課題

- ✧ 地域での運動サークル作りが無い
- ✧ 関心毎が様々であり、地域活動にまともらない
- ✧ 自治会の防災パトロールに不参加者が多い
- ✧ 自治会未加入者への対応が不十分
- ✧ 自治会未加入者へ加入目的を知らせたい
- ✧ 自治会加入率低下への対策が不十分
- ✧ 周囲に空家では？と思われる家がある
- ✧ 自治会の行事で若い人の参加が少なくなっている
- ✧ 自治会に加入しない人、近所付き合いを嫌う人もいる
- ✧ 安心できるまちづくり・安全性の確保
→自治会やまちづくり協議会の活動が盛んで良い反面、参加しない人とのギャップがある。また、活動の担い手・指導者が高齢化しており、次世代の育成が課題。

良い点・悪い点

(付箋)

- ☆ 「まちづくりしよ」の作成は効果的
→市民協働情報誌が良くできているので活用した方が良い
- ☆ 公園内での子供のマナーが良くなった
- ☆ 観光パンフレットが充実している
- ☆ コミュニティ活動は多いが、各団体の連携は不足
- ☆ 運動サークル団体の一覧があれば良い
- ☆ まちづくり協議会の活動が知られていない
- ☆ 地域まちづくりの指導者育成はどう進めていくのか
- ☆ まちづくり協議会以外の団体の活動が見えない
- ☆ サポートセンターの活動がよく見えない
- ☆ 「まち協」と「サポートセンター」の連携不足
→市民公益活動サポートセンターや各種団体、まちづくり協議会等の素晴らしい活動をもっと周知した方が良い（広報の充実）
- ☆ 地域資源を活かした活動ができると良い
- ☆ 観光都市推進のために佐倉のイメージづくりが不足している
- ☆ 地域コミュニティに文化活動も展開すべき
- ☆ もう少し低料金で芝居や音楽を楽しみたい（音楽ホールの料金が安い）

スタートしたぞ
まちづくり協議会

多様な
市民活動

(雑談などから)

- ☆ 付箋の色は、赤が課題・悪い点、青が良い所の方がイメージしやすかった
- ☆ 市街化調整区域の隣接地開発などの乱開発を市で制限して欲しい

発表内容

市民ができることはたくさんあるという意識でこれからの見通しを話し合い、「なお一層市民サイドのまちづくりを」という結論になった。その根拠として、佐倉市民は自治意識が高く、その環境で育った子供達も自治意識が高いと考えている。例えば、自治意識から行われている行動により、子供達が安全に登校できており、まちには花があふれている。自治意識の活動を支えているのは自治会の活動であり、非常に良い実践をしている。一方、自治会における課題として、空家が増えてきたことによる地域の安全や、自治会を担う人員の減少してきていることがある。

まちづくり協議会については、本日配布資料に協議会紹介や取組が記載されている。素晴らしい活動を行っており、目に見える活動につながってきているものの、一般の市民への周知がまだまだ広まっていないという課題を感じた。このような課題に対しては、行政の役割の部分もあるが、地域の人材を活用しながらの取組や市民ができる役割もあると考えている。

「なお一層市民サイドのまちづくりを」を意識しながら次回の会議で解決策を考えていきたい。